

2. 動 物

本県における動物類の生息状況をみると、その地勢上の特徴に対応して、地域的に異なる動物類の生息分布が認められる。

地帯区分別動物（哺乳類，

地 帯	地 帯 の 特 性	主 な 生 息 動 物		
		哺 乳 類	鳥 類	昆 虫 類
沿 岸 地 帯	気候が温暖なため暖地系の植物が多くなっている。	ホンシュウジカ	シギ，チドリ類 アジサシ類 カワラヒワ ウミネコ，ウトウ	マダラヤンマ ヒスマイトトンボ アオスジアゲハ ヤマトバタ
平 野 地 帯	平野のほとんどは水田や畑地集落となっている。	ホンドイタチ	ガン，カモ，ハク チョウ類 オオヨシキリ ムクドリ	オオセスジイトトンボ マークオサムシ
丘 陵 地 帯	平野地帯から標高300メートル内外の地域	ホンドタヌキ ホンドキツネ ニホンリス	ヒヨドリ ホオジロ	ゲンジボタル チョウトンボ ムカシヤンマ ヒメギフチョウ オオムラサキ ヒメボタル ミヤマシジミ

〔動物分布図〕

動物分布図からみた本県の

鳥類，昆虫類）生息状

動 物 の 生 息
草原，灌木地域 干潟，海浜 海浜砂丘 海浜松林 島しょ 海浜湿地 " タブ，シロダモ自生地 海浜草地
河辺，湖沼周辺 湖沼，河川 河川，湖沼周辺ヨシ原 水田，畑地，村落など 湖沼湿原 " 耕地周辺山林 " " （アカマツ林） " 灌木林，草原周辺山林 清流小河川（カワニナ生息） 湖沼 " コナラ，クリ林のある地帯 クヌギ林のある地帯 コマツナギ自生地帯